

大会名 Competition	第21回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO, M-202	Year Month Day Time 2008 年 5 月 4 日 12 : 05
場 所 Place	能代市総合体育館



チームA		チームB
酒田商	(22 1st 15 23 2nd 18 24 3rd 14 10 4th 27 OT)	能代
79 ○		74 ●

主審:Referee
信太 悦美 秋田県
副審:Umpire
水木 順仁 秋田県
テーブル・オフィシャル:Table officials
能代工業高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	佐藤 真琴	CAP	5	1	1	0	2	4	×	木村 朱里	CAP	9	0	2	3	1
5	×	佐藤 さくら		14	1	5	1	2	5	×	佐々木 梢		8	0	3	2	4
6	×	奥山 省行		11	3	1	0	4	6	×	野村 咲季		23	2	8	1	2
7	×	石川 早紀		10	0	5	0	0	7	×	佐々木 望		28	5	6	1	4
8	×	田村 梓		12	0	6	0	2	8	×	工藤 美香		4	0	2	0	2
9	/	佐藤 志帆		12	1	4	1	2	9	/	桜田 愛		2	0	1	0	1
10	/	吉泉 晶		0	0	0	0	1	10	/	安藤 いずみ		0	0	0	0	0
11	/	那須 茜		6	0	3	0	0	11		見上 順		-	-	-	-	0
12	/	池田 祥子		5	0	2	1	2	12		斉藤 蘭		-	-	-	-	0
13	/	阿部 彩奈		2	0	0	2	2	13		藤原 身和子		-	-	-	-	0
14	/	佐藤 知沙希		0	0	0	0	0	14		岩谷 瑞希		-	-	-	-	0
15	/	阿部 美奈		0	0	0	0	1	15		大高 舞雪		-	-	-	-	0
16	/	五十嵐 あや		2	0	1	0	2	16		松森 理歩		-	-	-	-	0
17	/	伊藤 佳奈		0	0	0	0	0	17		大高 奈都美		-	-	-	-	0
18	/	伊藤 麻衣		0	0	0	0	0	19		岸部 希海		-	-	-	-	0
									20		佐々木 彩乃		-	-	-	-	0
コーチ		池田 和博							コーチ		畠山 晋						
Aコーチ		高橋 朋							Aコーチ		浅野 葵						
合 計				79	6	28	5	20	合 計				74	7	23	7	14

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pシュート 2P:2Pシュート FT:フリースロー F:ファウル

第1Q、両チーム共にハーフコートマンツーマンディフェンスで幕開け。酒田#8田村の先取点後は中盤までお互い入れあいの展開が続くが、酒田がインサイド、アウトサイドからバランスよく得点し、残り2分で20-9とリードする。能代はタイムアウト後、#6野村の3Pとフリースロー、#7佐々木の得点で差を詰め、22-15の酒田7点リードで第1Q終了。

第2Q、酒田の積極的なオールコートディフェンスに能代はリズムを崩しミスを連発。残り4分で34-22と酒田の12点リードとなる。ここで能代はディフェンスをオールコートプレスに切り替えリズムを掴みかけるがミスもあり、12点差を詰めきれず45-33で第2Q終了。

第3Q、酒田#5佐藤(ま)の3P、#9佐藤(志)の連続得点などで53-37となった後は酒田のペースとなり、残り5分で58-38の酒田20点のリード。能代は#6野村の3Pや速攻で反撃するが、差を詰めるまでには至らず、69-47で第3Q終了。

第4Q、両チームなかなか得点が伸びず平行線のまま試合が続く、残り4分で77-55。この時点で酒田はスターターを全て下げベンチメンバーで試合を進めるが、残り3分を切る所で能代が怒涛の反撃を見せ、残り1分で79-74の5点差まで一気に詰め寄る。ここで酒田はスターターに戻し、能代の勢いを止める。結局79-74の酒田勝利で試合終了。能代は最後見せ場を作ったが、酒田のオールコートディフェンスのプレッシャーが勝った試合だった。

なお、優秀選手賞には酒田#5佐藤さくら選手、能代#4木村朱里選手が選ばれた。